

④カタログ規格外品はこちら P.131

■ガラスのラインナップと特性

見本	材質	特長
	石英ガラス	石英は水晶を酸素炎で溶融したガラスで、純度が高く、気泡がないのが特長です。通常のガラス類(けい酸塩ガラス類)と比較して、光透過率が全波長にわたって非常に高いです。赤外線領域では、透過率及び透過範囲とも通常のガラスより優れています。短波長の紫外外領域では、より良好な透過性を示します。また、耐熱温度も連続使用で900度と耐熱性も優れます。半導体製造用治工具、理化学用機器類の材料として最適です。
	フロート透明ガラス(青板ガラス)	平滑性に優れたゆがみの少ない汎用的なガラスです。ガラスの中でも最も切断しやすく、ガラスカッターで切ることが出来ます。
	耐熱ガラス(テンパックスフロート®)	ホウケイ酸ガラスです。両面はフロート製法により平坦で平滑な表面に仕上られ、高い光透過性と光学的歪みのない卓越した光学品質を持っています。連続使用温度230°Cと優れた耐熱性をもち、熱膨張による変化が少なく、耐熱衝撃にも強いです。
	強化処理ガラス	フロート透明ガラスに比べ約3~5倍の静的強度を持つよう熱処理をしたガラスです。通常強化処理に10日程度かかりますが、ミスミは在庫品として短納期で提供します。
	耐熱結晶化ガラス(ネクストリーマ®)	連続使用温度700°Cと、石英ガラスに次ぎ耐熱性に優れ、熱膨張が少ないガラスです。フロート透明ガラスに比べ約2~3倍の強度を持ちます。ミスミは1mm単位からフリー寸法で対応いたします。

■特性値

項目	単位	石英ガラス	フロート透明ガラス (青板ガラス)	耐熱ガラス (テンパックスフロート®)	強化処理ガラス	耐熱結晶化ガラス (ネクストリーマ®)
連続使用温度	°C	900	80	230	180	700
最高使用温度	°C	1100	—	500	200	850
耐熱衝撃性	°C	—	—	150	80	700~820
曲げ応力値	N/mm²	50	50	25	150	100
熱膨張係数	×10⁻⁷/°C	5.5	85~90	32.5	85~90	9~8

①耐熱衝撃性の温度値は、表中の温度から急速に冷やしたときに割れなどができるおきないとされる温度です。

②記載の数値は代表値であり、保証値ではありません。使用環境により温度特性・強度が変わります。

③第一種、第二種圧力容器や高圧ガス特定設備には使用できません。

■ガラス強度計算

強度、圧力、板厚、受圧面積の4項目より求めたいY値を導きます。

$$\cdot \text{圧力を求める計算式} \\ P = \frac{\sigma T^2}{25A}$$

$$\begin{cases} P = \text{圧力 (Mpa)} \\ T = \text{板厚 (mm)} \\ \sigma = \text{曲げ応力値の} 1/10 (\text{N/mm}^2) \\ A = \text{受圧面積 (cm}^2\text{)} \end{cases}$$

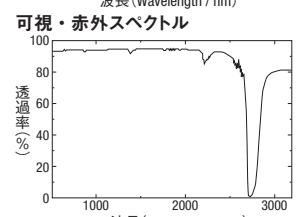
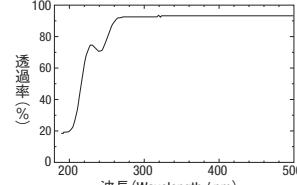
$$\cdot \text{受圧面積を求める計算式} \\ A = 4T^2 \sigma X/P$$

$$\cdot \text{板厚を求める計算式} \\ T = 5\sqrt{\frac{PA}{\sigma}}$$

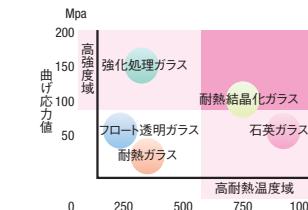
■石英ガラスの特性

■光透過性

■紫外・可視スペクトル



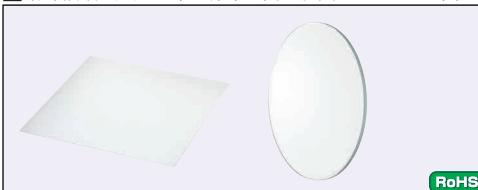
■温度・強度比較



■機械的特性

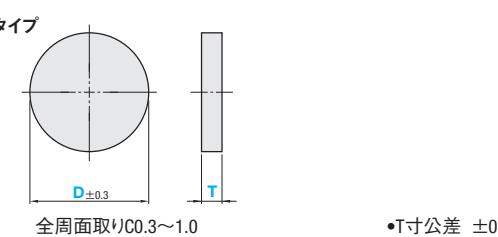
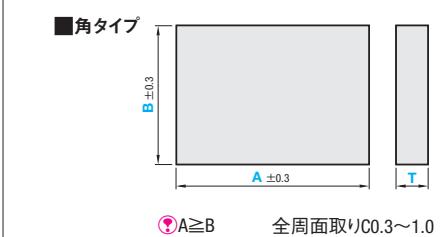
- 純度 (%) ≥99.9
 - OH (ppm) 200
 - 密度 (g/cm³) 2.2
 - ビックース硬度 (Mpa) 7600~8900
 - ヤング率 (Gpa) 74
 - 剛性率 (Gpa) 31
 - ボアソン比 0.17
 - 曲げ強度 (Mpa) 50
 - 圧縮強度 (Mpa) 1130
 - 引っ張り強度 (Mpa) 49
 - ねじり強度 (Mpa) 29
- 使用上の注意
- 常に清浄な状態でご使用ください。
 - 透明石英ガラスは、不純物とともに水を嫌います。濡れるとま高温露圧気に入れないでください。
 - 高温でご使用の時は、十分乾燥させてからご使用ください。
 - ご使用の露圧気によっては失透が促進されますのでご注意ください。
 - 急熱急冷に強く、通常ガラスの10倍の強度を有していますが、極端な温度変化には耐えられません。
 - 熱伝導率が低く局所的な急熱、急冷によりクラックが入ることがあります。また、製品の肉厚が厚くなるにしたがって、耐熱衝撃性は低下します。
 - 石英ガラスの内外に他の物質が密着した状態で温度を上げる(下げる)と、熱膨張差によって破損することがあります。他の物質が密着した状態で温度を上げる(下げる)時は、十分注意してください。
 - 高温で長時間ご使用になると、石英ガラスの自重または他の荷重で次第に変形することがあります。支持方法や使用状態に変化をつけるなどの工夫をしていただくと、寿命も長くなります。

■紫外領域で光透過率が非常に高い石英ガラスを1mm単位でご指定いただけます。



Type	形状	■材質	耐熱温度	
			連続使用	最高使用
FGLKS	角タイプ	溶融透明石英ガラス	900度	1100度
FGLMS	丸タイプ			

②耐熱温度は使用条件等で大きく変わります。保証値ではありません。



■角タイプ

型式	T	指定1mm単位	
		A	B
FGLKS (角タイプ)	1	20~150	20~150
	2		
	3	20~300	20~300
	4		
	5		

■丸タイプ

型式	T	指定1mm単位	
		D	
FGLMS (丸タイプ)	1	20~150	
	2		
	3	20~300	
	4		
	5		

Order
注文例
FGLKS2 - 200 - 154Delivery
出荷日
5 日目出荷
FGLMS1 - 150

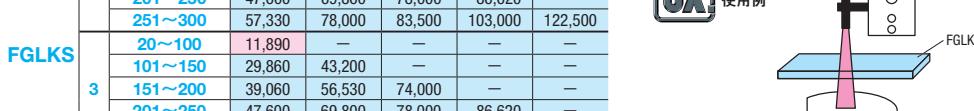
■数量スライド価格 (①1円未満切り捨て) P.127

数量区分	標準対応		個別対応
	小口	大口	
数量	1~4	5~9	10~20
値引率	基準単価	5%	10% お見積り

③表示数量超えはWOSにてご確認ください。

■角タイプ

型式	A 指定1mm単位	¥基準単価				
		B 指定1mm単位				
Type	T	20~100	101~150	151~200	201~250	251~300
1	20,600	—	—	—	—	—
2	29,860	43,200	—	—	—	—
3	29,060	56,530	74,000	—	—	—
4	47,600	69,800	78,000	86,620	—	—
5	57,330	78,000	83,500	103,000	122,500	—
20~100	11,890	—	—	—	—	—
101~150	29,860	43,200	—	—	—	—
151~200	39,060	56,530	74,000	—	—	—
201~250	47,600	69,800	78,000	86,620	—	—
251~300	57,330	78,000	83,500	103,000	122,500	—



④材質特性 P.1009